

研究通信

NO. 11

研究会 本部 東京大学
 研究部 東京大学
 編集 東京大学
 社 東京大学
 落 東京大学
 村 東京大学

再び年報と宿題について

有賀喜左衛門

研究通信九号で一応申上げたが、再び言及したい。

年報第一輯村落研究の成果と課題については大部分の執筆者の論文を手にする事が出来て予期通りの興味のある書物が出来上りそうになっている事を執筆者諸兄に御礼申上げると共に会員諸兄と共に喜びたい。今の所少数の執筆者から原稿がとどかないので、大分おくれたが、出版元へ原稿を渡す迄になつていない事は残念だ。大会迄に是非上梓したいという希望をいだいている。

年報第二輯の編集も早くやりたいので、第一回大会に研究発表した諸兄及びその折の宿題について特別の研究をされた人々の研究報告を共に寄せて頂きたい。第二輯の原稿の最終入切は今年十二月二十日の予定であるが、それ前に原稿を頂いて、年報委員会にかけて第二輯に掲載するための検討をする事になるので出来るだけ早く送って貰う事が好都合だ。

この検討会は執筆者と編輯に連絡して、もし不十分な箇所があれば補足して頂いて、出来るだけ立派なものとして発表したいという気持ちから考えた事だから、執筆者の懇意をお願ひし、年報委員会も誠心誠意話合うつもりであるから、御了承をお願いしたい。もうすでに七月中に第二輯の原稿をお送り下さるといふ人もあったが、他の方々にも出来るだけ早めにお送り下さるようお願いしたい。

一九五四年度の東京大会は通信九号では早稲田大学と報告したが、いろいろの都合で十月十八日に東京教育大学で閉く事に変更したから直送のないようをお願いする。研究発表に際しては注田氏から問合せもあったが、発表希望の方は研究の梗概というに止まらず、詳しい内容を予め送って下さつても差支えな

い。これらは発表の有無にかゝらず、後に原稿はお返しいたしますから、その点は御心配ないようお願いする。会員から寄せられた研究はどんなものでも大切に、年報及宿題委員会の衆議にかけて、あとで補足すれば立派になるものなら、そのようにして二年でも三年でもかけて、発表してもらつて取計らう事が本会の目的だから、その点も御理解をお願いする。

第二回の東京大会のための研究発表を成るべく沢山送って頂きたい。研究発表書の選定については宿題委員会にお任せをお願いするが、万一もれた方も共同討議で討論参加の機会があるし、次の、又はその次の年報に発表もなし得ると思うので、出来るだけ充実した調査研究をなされる事を心から希望している。